

看護大学 だよ #23

新しい学び・人・キャンパス
福岡看護大学の魅力を
ご紹介します！



大学主催合同就職説明会

本学では学生キャリア支援の一環として、2019年度より毎年合同就職説明会を実施(2020年度はコロナのため中止)している。マインナビなどの外部業者主催の大会場で行われる合同就職説明会とは異なり、本学学生のために参加していただける病院・施設の方々によるアットホームな雰囲気の説明会となっている。それでも参加施設は本学の主な実習先となっている九州大病院や福岡大学筑紫病院など20施設以上と決して少なくない数である。また施設からは本学から就職した卒業生が来てくれることも多く、学生は先輩から就職先の情報や実際に働いてみての所感など直接聞くことができる。就職先を検討する際、学生は自身が4年次までに実習した施設を選択肢に入れることが多い。学生達は就職の決め手となる一番の要件に「職場の雰囲気」を挙げることも多く、実習先で実際に見た指導看護師の姿や病棟の雰囲気や憧れ、自分もこのスタッフとして医療に貢献したい、と思うようである。しかし、事後アンケート結果からは「知らない名前の病院にも興味を持った。いろいろな病院の情報を収集する必要がある」と思った。「や」いろいろな病院の話や聞くことで、自分の中で病院選びの基準が分かった。」といった声があり、学生にとっては実習で得た情報以外のことを知ることができると有意義な時間となっているようだ。

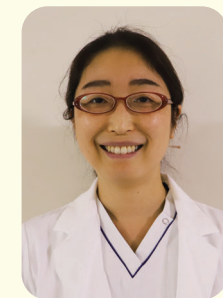
コロナ禍で計画通りに臨地実習を行うことができなかつた学生が多い中、合同就職説明会は学生の今後の人生の選択を検討する上で重要な機会となる。次年度以降も継続して実施していくとともに実習先それぞれは就職先となる施設との連携を強化していきたい。

(大久保つや子・寒水章納)



短大 VOICES #23

夢を叶える場所
「福岡医療短期大学」
多くの出会い・絆を
育てている
短大の情報をお届け！



福岡医療短期大学講師
井上 庸子

私は2000年に福岡歯科大学を卒業後、矯正歯科学講座、開業医勤務、口腔外科学講座を経て、本年度福岡医療短期大学歯科学科に着任しました。歯科医師として臨床の場で歯科衛生士の方々と一緒に仕事をしてきましたが、この度歯科衛生士教育に携わることとなり、あらためて「歯科衛生士の仕事」を学生の皆さんとともに学んでいます。

歯科衛生士教育は、1年生からユニットを使った実習があり、姿勢の指導から始まります。ユニット上の患者さんとの距離、診療者・補助者のチェアの高さなど適切な距離や位置、角度などを学びます。歯科医師は、大学卒業後に診療の現場においてスキルを習得する「On the Job Training」のため、診療の姿勢などは自己流であり、短大での実習後にあらためて見た研修歯科医のあまりの姿勢の悪さに愕然として指導を行ってしまいました。短大での実習は即戦力を育てるものだと感じました。

近年、認定歯科衛生士制度が各学会から立ち上げられており、歯科衛生士も専門性が重要視されてきています。矯正歯科では、顔面・口腔内写真撮影や顎運動検査などの検査から、ワイヤーの着脱、装着した矯正装置の取り扱い、ブラッシング指導、筋機能訓練など、診断とブラケット装着(直接法)以外のすべての診療業務を歯科衛生士が行います。医科歯科総合病院口腔外科ではがんや顎変形症といった大きな手術を受ける患者さんへの口腔ケアを行う専門歯科衛生士が在籍しています。

これまでの経験を踏まえ、歯科衛生士の専門教育の一翼を担い、地位向上に寄与できるよう努力してまいります。

